

募集

合併10周年冠事業

市では、市全体で合併10周年を盛り上げるため、10周年記念の冠を付け実施する事業を募集します。

- 対象 市への愛着や誇りを育むもの、歴史・伝統・文化等をいかしたものにぎわいを作り、地域の活性化や交流人口の増加に貢献するもの
- 内容 事業への後援、10周年記念ロゴマークの使用、のぼり旗の貸し出し、広報紙や

地域づくり活性化 支援事業補助金

市内の団体等が、自発的に取り組む活動費用の一部を助成します。

申し込みには、指定された書類の提出が必要です。詳しくはお問い合わせください。

- 申込期限 5月29日(金)まで
- ☎本庁舎生活環境課 内2167

案内

住宅用太陽光発電補助金

再生可能エネルギーである太陽光発電の普及を図るため、設置費用の一部を補助します。

- 対象 4月1日以降、東北電力(株)に接続した方 ※125件程度
- 補助金額 システムの出力1kw当たり2万円(上限8万円)
- 申請方法 申請書に必要書類を添付し提出してください。
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎商工課 内2249

春のぐるり白河文化 遺産めぐり

白河の文化遺産をめぐるツアーとスタンプリーを開催します。

《ツアー》

- 日時 4月19日(日)／午前10時～午後2時30分
- 内容 小峰寺の仏教美術と歴史的建造物
- 定員 40人 ※要予約
- 参加料 500円
- 《スタンプリー》
- 日時 4月18日(土)～29日(祝)／午前10時～午後3時
- 内容 すべてのスタンプを集めた方に賞品をプレゼント(先着50人)
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎まちづくり推進課 内2743

犬の登録と狂犬病予防注射

生後91日以上の犬は、生涯1回の登録と年1回の狂犬病予防注射の接種が法律で定められています。必ず登録し、予防注射を受けてください。

なお、登録が済んでいる飼い主の方には、事前に「狂犬病予防注射申請書」を送付します。裏面が問診票になりますので、注射を受ける際に忘れずに持参してください。

- 実施日 ▽白河地域 4月18日(土)～23日(木) ▽表郷地域 5月12日(火)～13日(水) ▽大信地域 5月19日(火)～20日(水) ▽東地域 5月14日(木)～15日(金) ※会場ごとの時間などは、回覧文書または市ホームページでご確認ください。
- 費用 3,200円(注射料2,650円・注射済票550円)
- ※犬の登録を行う場合は、登録料3,000円が別途必要です。
- ☎本庁舎生活環境課 内2165 / 各庁舎地域振興課 表郷☎③2112 大信☎④2113 東☎④2112

市任期付職員

2743

- 任期 7月1日～平成30年3月31日
- 職種・採用予定人員 保育士 3人程度
- 資格 昭和50年4月2日以降に生まれた方で、保育士資格を有する方
- 内容 保育園での保育業務
- 申込期限 4月28日(火)まで
- ※受験案内および申込用紙は、本庁舎総務課、各庁舎地域振興課で配布します。また、市ホームページからも取得できます。
- ※試験方法など詳細は受験案内をご覧ください。
- ※郵送での申し込みは、当日消印有効です。
- ☎本庁舎総務課 内2316
- 日時 5月12日(火)～12月8日(火)／毎週火曜日 午後7時～9時 ▽毎月1回(土曜日) 午後1時～4時15分
- 会場 市立図書館りぶらん小会議室(道場小路)
- 受講料 無料
- 定員 20人程度
- 申込期限 4月30日(木)まで
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎社会福祉課 内2714

パソコン教室

《昼間初級講座》

- 日時 5月22日(金)～6月12日(金)(毎週月・水・金曜日)／午前9時～正午
- 会場 市産業プラザ人材育成センター(中田)
- 受講料 1万800円
- 内容 初歩的なワード、エクセルの操作
- 定員 20人 ※先着順
- 申込開始 4月22日(水)から
- 申込受付時間 午前9時～午後5時 ※平日のみ
- 申込方法 受講料を添えて、センター窓口へ直接お申し込みください。
- ☎同センター☎②3512

畑作物の直接支払 交付金等の対象者

畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)および米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)の対象者が、認定農業者、集落営農、認定新規就農者に変更されます。支援を希望する方は、お問い合わせください。

- 申込期限 6月30日(火)まで
- ☎本庁舎農政課 内2223 / 各庁舎事業課 表郷☎③2785 大信☎④3973 東☎④2115 / 東北農政局 いわき地域センター白河庁舎☎②1241

屋外広告物の維持管理

屋外広告物(広告板や立看板など)に関する県の条例では、破損や老朽化、倒壊または落下の恐れのある広告物の設置を禁止しています。また、設置者や管理者には、補修やその他の必要な管理により、良好な状態に保持する義務を定めています。

落下等による事故を未然に防止するため、安全点検を行い、異常がある場合は、速やかな措置をお願いします。

- ☎本庁舎まちづくり推進課 内2747

循環型社会の実現に向けて

《3Rの推進》
家庭や職場など、様々な場面で身近に実践できる3R活動(リデュース=減量、リユース=再使用、リサイクル=再資源化)を推進しています。皆さんのご協力をお願いします。

《3S広場(Shirakawa Second Shop)》
限りある資源の節約、不用品再生利用のため、3S広場をご利用ください。3S広場では一般家庭にある再利用可能な不用品情報を生活環境課に登録することで、希望する家庭に情報を提供します。

■注意事項
▷登録料、紹介料は無料です(登録期間は3か月)。
▷現品は、市で預かることができません。当事者同士で確認、交渉してください。
▷取り引きに係る交渉や、品物についてのトラブルは、当事者間での解決をお願いします。
▷市内在住の方であれば登録できます。なお、営利を目的とする場合は登録できません。
☎本庁舎生活環境課 内2165 / 各庁舎地域振興課 表郷☎③2112 大信☎④2113 東☎④2112

案内

内部被ばく検査

ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は、日常生活の中で体内に取り込まれた放射性物質の量を測定するものです。健康管理のため、ぜひ受診してください。

なお、検査日は、市ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

●対象 平成26年4月1日以前に生まれた方

●会場 白河厚生総合病院内 健診センター（豊地）

●検査料 無料

●申込方法 検査日の5日前

新入学（園）児童・園児の交通事故防止運動

4月6日（月）～12日（日）

《運動のスローガン》
ルールむし しん号むしは わるいむし

《運動の重点》

- ①新入学（園）児童・園児の交通事故防止
 - ②すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ◎本庁舎生活環境課 内2162

までに予約
●予約専用電話 ☎2150
※平日のみ（午前8時30分～午後5時15分）
◎健康増進課（中央保健センター） ☎2112

障がい者総合支援法 難病対象疾病の拡大

障がい福祉サービス等を利用できる難病の対象疾病が、130から151に拡大されました。

対象の方は、障がい者手帳がなくとも、サービス等を受けることができ、難病の確認ができる書類を持参のうえ、申請してください。

●申し込み・問い合わせ先 本庁舎社会福祉課 内2714

国民年金保険料

4月から平成28年3月までの国民年金保険料は、月額1万5,590円です。日本年金機構から送られる納付書により、金融機関・郵便局・コンビニエンスストアで納付するか、事前申込による口座振替で納付してください。

保険料が未納の場合、将来の年金額が少なくなるだけでなく、障がい年金・遺族年金などが受け取れない場合があります。毎月の納期限（翌月末日）までに忘れずに納付しましょう。

なお、前納による割引制度や、納付が困難な方を対象とした免除・納付猶予制度（学生は学生納付特例制度）がありますのでご相談ください。

◎本庁舎国保年金課 内2174 / 白河年金事務所 ☎274161

難聴児への補聴器購入助成

身体障がい者手帳の交付対象者とならない軽度・中等度の難聴の方に、補聴器購入費用の一部を助成します。

●対象 次のすべてに該当する方
①市内にお住まいで18歳の3月31日までの方
②聴カレベルが30デシベル以上70デシベル未満の方
③補聴器により言語の習得等に一定の効果が見込めると医師が判断している方

●内容 購入費の3分の2（8万6,600円以内）を

助成 ※両耳の場合は2倍の額まで

※購入前の申請になります。詳しくはお問い合わせください。

◎本庁舎社会福祉課 内2714

公民館の使用料改定

4月1日から、各公民館の使用料が1時間単位になります。料金は部屋ごとに異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

◎各公民館 / 中央 ☎3810 表郷 ☎2526 大信 ☎2511 東 ☎3159

まちかど伝言板

中心市街地活性化事業 ミニコンサート

《オペラ 久保田東穂》
●日時 4月19日（日）午後4時～5時
●会場 えきかふえSHIRAKAWA（郭内）
●入場料 無料
◎福島県ミニコンサート実行

立教志塾講演会

●日時 4月24日（金）午後6時30分から
●会場 市立図書館りぶらん 地域交流会議室（道場小路）
●内容 ▽講演「平成27年の国際情勢」 ▽講師 杏林大学客員教授 田久保忠衛氏
●入場料 500円（塾生無料）
◎（公財）立教志塾 ☎21427



市長の手裡え帖
白河市長 鈴木 和夫

『もてなしの心』

大震災から4年が過ぎ、今年も桜の季節を迎えた。痛ましい犠牲のあった葉ノ木平には、災害住宅が建設され、294号バイパスも用地の取得に全力をあげている。文化交流館は骨組みが見えてきた。三菱ガス化学の第1期工事は7月にも始まる。文化・産業・道路等、未来の礎となる大型事業が進む。今後、除染を急ピッチで行い、風評の克服に全力をあげたい。しかし風評は厄介なもので理で説いても解決は難しい。鍵になるのは観光やスポーツのイベントによる交流。

今月から6月まで、本県の魅力を発信する観光キャンペーンが始まった。県南では、新幹線とゴルフ場をセットにしたプランの売り込みや、旅行業者を招き小峰城、南湖などの歴史・文化に触れてもらう取り組みを行うなど昨年からこれに備えてきた。2月初旬、関連団体が一堂に会して、決起大会を行った。観光にはもてなしの心が欠かせない。

そこで日本橋高島屋のコンシェルジュ、敷田正法さんに講演をお願いした。題は「気遣い力」。氏は大学の先輩で下宿も同じ。三畳間で酒を飲み、麻雀も教えてもらった。共に下駄をならし横丁の銭湯へ。一番風呂の気分は格別だった。

コンシェルジュは、もともとホテルで宿

泊客の相談や要望にこたえる、よろず承り役。先輩は百貨店における先駆者といわれる。花形の営業から転身して15年。初めは戸惑ったが、自分に向いていると秘かに情熱を燃やす。増える外国人にも、米国で鍛えた英語や、仕事の合間に学んだ中国・韓国語で対応。日本橋界隈を知るのも仕事のうちと、中央区の観光検定試験に挑戦。銀座・京橋・築地・佃。再開後の街路や、江戸情緒の残るまち並みを歩き、歴史・由来をひとつひとつ確認する。今、観光特派員の肩書きを持つ区のコンシェルジュでもある。

気遣いとは「お客様が満足し、また足を運んで頂く」ために最大限心を砕くこと。「三越はどちら？」とライバル店の道を聞かれても、外に出て夏なら日陰を、冬なら日向を歩けるよう、また、晴れか雨かに応じ道順を案内するという。恐れいりました。三つの禁句がある。ありません。は会話を終わらせてしまう。代替えの品を提供するよう努める。できません。は期待を裏切ってしまう。極力こたえられないよう努める。知りません。は夢を壊してしまう。あらゆるツールを使い調べる。NOと言わない接遇が、人間力や仕事力が高めるという。なるほど。

苦情への対応も大事。批判されるのはいやなもの。しかし避けてばかりいると、成長や改善の機会を逃すことになる。苦情は成長の糧と、一歩進み出て聞く気構えが必要。普通の行為に少し配慮や工夫を加えれば、並はずれた成果になると説く。おおらかで何事にも前向きな九州人。今は天職と心得、高島屋の顔となっている。

高島屋は1831年京都での呉服商が始まり。屋号は近江の国・高島に由来する。近江商人といえは「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方よし。売り手の都合だけではなく、買い手が満足し、商いを通して地域社会に貢献する。強欲は一炊の夢と肝に銘ずる。信用を第一とする。顧客を平等に遇する。幕末の蛤御門の変で京都は火の海。焼け出された人に安値で商品を提供した。70年前の東京大空襲。多くの人が日本橋店に避難し助かった。4年前の大震災。帰宅困難者に店を開放し、水や食料品を用意した。「もてなし」の精神が脈々と流れている。

何故近江か。楽市楽座は規制を緩め、経済活動を促した。近江は京・大阪に近く、水運に恵まれ、北国・中山・東海の街道が伸びている。自然にベンチャーの心が育まれた。全国に足を運び各地に支店をつくる。年末には一斉に戻り情勢を報告。会津はこれが売れ筋、盛岡は何々が足りない。素早く品物を仕入れる。各藩の経済や文化、政治状況を把握できた。近江から日本が見えていた。ちなみに福島中合の創業者も近江の人、中村治郎兵衛。中村合名会社「中合」を興す。情報と進取の心の大事さは、時を超えて不変である。

日本橋高島屋は国の重要文化財に指定されている。和と洋の見事な組み合わせは、高度な建築技術を誇る。一階ロビーは吹き抜けで、高い天井と大理石の空間は劇場か美術館のよう。非日常の興奮とときめきを覚える。扉を開けると、大きく丸い身体に、にこやかな笑顔の名物コンシェルジュが迎えてくれる。